

台湾の小学校社会科教育課程における地図学習の現状

謝 君 慈* 山 下 昭 洋**

キーワード：台湾、小学校、社会科、地図学習

I. はじめに

台湾のみならず、地図の活用は各国・各地域の社会科や地理的分野の教育課程において欠かすことのできない内容であり、地図の読図や作図の方法については段階的な学習課程が組まれている。日本においても、地図は子どもの空間認知形成や地理の学習者にとって重要な役割を果たしていると指摘されている（寺本2012）。また、松井（2007）は日本の小学校の社会科教育課程の教科用図書（以後には教科書と略す）全5社における主な地図関連の学習内容について整理し、「児童の学習する各社の教科書によって、方位や縮尺など地図に関する学習内容に学年での差が生じていることには問題点があり、児童の地図学習における根本的理論を踏まえて、地図学習の段階を踏まえた教科書記述が求められる。」と主張した。

日本の文部科学省では教科書は教育課程の構成に応じて組織排列された教科の主たる教材と位置づけられており、実際の授業では教員と児童との共通のかけ橋のようなものである。このことは台湾における課本¹⁾（以後には教科書と記す）でも同様であり、この教科書での地図関連の記述内容は、児童の成長過程と学習課程の積み重ねに立って、地域的・空間的認識能力がどのように身につについていくかを規定するものとも言える。したがって、台湾の教科書記述の特徴や各社の工夫内容を分析することは、台湾の児童の地域的・空間的認識能力の習得実態を推し量ることにも通じよう。これまで謝は台湾と日本における幼児の知覚環境形成について、幼稚園児を研究対象として「景観写真による言語描写法」という手法を用いて研究し、これらの幼児の知覚環境形成には、保護者との移動経験が重要な役割を果たしていることを明らかにした（謝, 2010, 2012, 2013, 2014a, 2014b, 2014c, 2015a, 2015b, 2016）。

本研究の目的は、前述の幼児の知覚環境形成を踏まえ

て、児童の地域的・空間的知覚能力の育成課程として、台湾の「國民小學」における社会科教育課程における地図学習の現状を明らかにすることにある。すなわち、台湾における児童の地図学習は小学校第3学年から始まり第6学年まで行われており、教科書における地図に関する学習もこの4年間で段階的に行われている。この研究方法としては、まず松井（2007）が日本の小学校の社会科教育課程の教科書全5社における主な地図関連の学習内容について整理した手法を踏まえ、台湾の「國民小學」の社会科教育課程の全3社の教科書に記載されている各種の地図について、地図表記に必須の記載要素である地図名・方位・縮尺・凡例・経緯度等を抽出して整理する。さらに、台湾の教科書の記述内容に関して、どのような学習内容が記述されているのか、これらの地図に関する学習内容の分析を通して、台湾の小学校社会科教育課程における地図学習の現状を明らかにする。

II. 台湾の小学校課程における社会科教育と地図学習

1) 社会科教育の授業時間と教科書に関わる規定

現行の「國民教育」と称される義務教育の修業年限と教育課程綱要については、「國民教育法」の第3条及び第8条で規定されている²⁾。これによると、授業日（数）、授業時数、教科等の構成、配当時数、各教科等の目標・内容については『國民中小學九年一貫課程綱要』³⁾で規定されている。また、『國民中小學九年一貫課程綱要』は「總綱」、「各學習領域課程綱要」及び「生活課程及び重大議題」によって構成されている。この「總綱」では実施の要点の項目で授業日数、学習コマ数、1コマの授業時間等が定められている。授業日数は年間200日間の2学期制（各学年上学期8月～1月と下学期2月～7月）で、1学期は20週、授業日は週に5日間と定められている。1コマの授業時間は小学校では40分間、中

* 立正大学環境科学研究所客員研究員・勤益科技大学・静宜大学・正徳高校非常勤

** 静宜大学・立正大学環境科学研究所客員研究員

学校では45分間となっている。表1には、『國民中小學九年一貫課程綱要』における学習領域と過当たりのコマ数を表示した。各学習領域のコマ数は、各学期の始まる前に、各学校の「課程發展委員會」によって『國民中小

學九年一貫課程綱要』の中で規定されたパーセントの範囲内で決められる。すなわち、台湾社会科学学習領域のコマ数は学習総コマ数の10%～15%となっている。

表1 『國民中小學九年一貫課程綱要』における学習領域と過当たりのコマ数

学年 学習領域	1	2	3	4	5	6	7	8	9
言語 (20%-30%)	本国の言語		本国の言語		本国の言語		本国の言語		
英語			英語		英語				
健康と体育 (10%-15%)	健康と体育		健康と体育		健康と体育		健康と体育		
社会 (10%-15%)	生活		社会		社会		社会		
芸術と人文			芸術と人文		芸術と人文				
自然と生活の 科学技術 (10%-15%)			自然と生活の 科学技術		自然と生活の 科学技術				
数学 (10%-15%)	数学		数学		数学		数学		
総合活動 (10%-15%)	総合活動		総合活動		総合活動		総合活動		
学習 総コマ数	22－24		28－31		30－33		32－34		33－35
領域学習の コマ数	20		25		27		28		30
柔軟的学習の コマ数	2－4		3－6		3－6		4－6		3－5

『國民中小學九年一貫課程綱要 總綱』より謝君慈作成
注) アミカケ部分は社会科関連の領域を表す

台湾の「國民小學」で用いられる教科書は上記の『國民中小學九年一貫課程綱要』に則って執筆・編成されている。本研究では台湾で使用されている社会科の教科書を出版するK社⁴⁾・H社・N社の3社の第3学年から第6学年までの社会科教科書を分析対象とした(表2)。

2) 台湾と日本の地図学習に関する政府の教育方針

小学校における地理的分野に繋がる地図学習は、台湾でも日本でも第3・4・5・6学年で行われている。そこで、台湾の「國民中小學九年一貫課程綱要－社會學習領域」(2008年公布)と日本の「学習指導要領－社会編」(2008年告示、2015年一部改正)における地図学習に関する記載について比較を行った(表3)⁵⁾。日本では、地図や地球儀などの資料を活かしながら地域社会の社会的事象に関する子どもの考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるという目標が設定されている。また、小学校第4学年からは教科書としての「地図」を

活用する、と指導計画の作成と内容の取扱いの項目で明記されている。一方、台湾では、地図学習に関する記述について、「課程目標」にはみられないが、表3に示すように「分段能力指標」(「段階的能力指標」)の1-2-4と1-3-4という項目で述べられている。ところが、「分段能力指標」(「段階的能力指標」)には地球儀を活用する地図学習内容の記述はなく、また日本の義務教育で配布されている教科書としての「地図」は、台湾では発行されていない。

Ⅲ. 台湾の小学校「社会」3社の現行教科書における地図に関する学習内容の比較

3社の各学年の社会科教科書における地図に関する学習内容を整理した(表4)。表4に示すように第3学年(下)から第6学年(下)の社会科教育課程において、位置図や分布図、絵地図、立体図、地形図、主題図、球

表2 分析対象とした教科書

出版社名	教科用図書名	出版年
K 社	國小社會課本第一冊（3 上）	民國104年（2015年）9 月
	國小社會課本第二冊（3 下）	民國107年（2018年）2 月
	國小社會課本第三冊（4 上）	民國106年（2017年）9 月
	國小社會課本第四冊（4 下）	民國106年（2017年）2 月
	國小社會課本第五冊（5 上）	民國105年（2016年）9 月
	國小社會課本第六冊（5 下）	民國105年（2016年）2 月
	國小社會課本第七冊（6 上）	民國105年（2016年）9 月
	國小社會課本第八冊（6 下）	民國106年（2017年）2 月
H 社	國民小學社會課本第一冊三年級上學期	民國106年（2017年）5 月
	國民小學社會課本第二冊三年級下學期	民國105年（2016年）9 月
	國民小學社會課本第三冊四年級上學期	民國106年（2017年）3 月
	國民小學社會課本第四冊四年級下學期	民國105年（2016年）9 月
	國民小學社會課本第五冊五年級上學期	民國106年（2017年）4 月
	國民小學社會課本第六冊五年級下學期	民國105年（2016年）9 月
	國民小學社會課本第七冊六年級上學期	民國106年（2017年）3 月
	國民小學社會課本第八冊六年級下學期	民國105年（2016年）9 月
N 社	國民小學社會 3 上（第一冊）	民國106年（2017年）8 月
	國民小學社會 3 下（第二冊）	民國107年（2018年）2 月
	國民小學社會 4 上（第三冊）	民國106年（2017年）8 月
	國民小學社會 4 下（第四冊）	民國107年（2018年）2 月
	國民小學社會 5 上（第五冊）	民國106年（2017年）8 月
	國民小學社會 5 上（第六冊）	民國107年（2018年）2 月
	國民小學社會 6 上（第七冊）	民國106年（2017年）8 月
	國民小學社會 6 上（第八冊）	民國107年（2018年）2 月

各出版社の社会科教科書より謝君慈作成

表3 台湾の「國民中小學九年一貫課程綱要－社會學習領域」と日本の「学習指導要領－社会編」における地図学習に関する内容の比較

台湾の「國民中小學九年一貫課程綱要－社會學習領域」と日本の「学習指導要領－社会編」における地図学習に関する内容 「」：中国語 （）：日本語 【】：謝による補足説明		
	課程目標	【地理的分野での地図学習に関する記述がない。】
台湾	分段能力指標（段階的能力指標）	1－2－4 「測量距離、閱讀地圖、使用符號繪製簡略平面地圖。」【第3学年と第4学年】（距離を測ったり、地圖を読んだり、記号を使って簡単な平面図を描くこと。）
		1－3－4 「利用地圖、數據和其它資訊，來描述和解釋地表事象及其空間組織。」【第5学年と第6学年】（地圖、数字と他の情報を利用して、地表の事象やその空間構造を記述し、説明する。）
日本	目標	（3）地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。【第3学年及び第4学年】 （3）社会的事象を具体的に調査するとともに、地圖や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。【第5学年】
	指導計画の作成と内容の取扱い	（3）学校図書館や公共図書館、コンピューターなどを活用して、資料の収集・活用・整理などを行うようにすること。また、第4学年以降においては、教科用図書「地圖」を活用すること。

出典：「小学校学習指導要領」www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/（最終閲覧2017年11月25日）「國民中小學九年一貫課程綱要」https://www.k12ea.gov.tw/ap/sid17_law.aspx（最終閲覧2017年11月25日）

より謝君慈作成

注）太字は筆者が地図学習に関する言葉を強調するために表示したものである。

体図など、多くの異なった種類の地図がそれぞれの分野の学習に使われていることがわかった。その中で、地理教育に欠かせない道具である地図と地球儀に関わる学習内容、つまり、地図の要素である地図名・方位・縮尺・凡例や緯度・経度などに関する学習内容は、おおむね第4学年（上）と第5学年（上）で取り上げられている。

表4 「社会」教科書における地図に関する学習内容
表4-a 第3学年（下）

出版社名	地図名や地図に関する説明文 「」：中国語；（）：日本語 【】謝による補足説明	地図名	方位	縮尺	凡例
K社	①【台湾行政区分位置図】（教科書中の村里郷鎮市区の生活・故郷の色々なイベント・故郷の産業・故郷の地名の由来・故郷の環境問題などに関する写真が掲載されている縣市を明示）			○	
	②「桃園市の行政区範圍」（桃園市の行政区図）【手描き地図】	○			
	③【付録】「臺灣行政区圖」（台湾行政区分図）	○	北方位	○	
H社	①「雲林縣行政区圖」（行政区分図）	○	四方位	○	
	その他：「符號」（記号）・「平面圖」（平面図）				
N社	①「埔里鎮市區街道圖」（埔里鎮市街地地図）	○			○
	②「馬公市古蹟導覽地圖」（馬公市遺跡観光案内図）【絵地図】	○	四方位		
	③「從電子地圖可以知道住家附近的街道分布。」（電子地図から、家の近くの道路分布を把握する。）				
	④「從衛星影像可以看到海洋、山丘、綠地等大範圍的自然環境景觀。」（衛星写真から海洋、丘陵、緑地などの広い自然環境景觀が見られる。）				
	⑤「從實景地圖可以看到街道兩旁的情形。」（現場写真から道路両側の景觀が見られる。）				

表4-b 第4学年（上）

出版社名	地図名や地図に関する説明文 「」：中国語；（）：日本語 【】謝による補足説明	地図名	方位	縮尺	凡例
K社	①【台湾行政区分位置図】（教科書中の故郷の気候と水利・故郷の生活場所の選択と住居・廟と老街・故郷の産業・故郷のイベントなどに関する写真が掲載されている縣市を明示）			○	
	②「新北市中和區永和區生活場所示意圖」（新北市中和区永和区の生活場所の略図）【絵地図】	○			
	②「彰化縣鹿港鎮航空照片圖（局部）」（彰化県鹿港鎮空中写真（一部））	○		○	
	③「彰化縣鹿港鎮地圖（局部）」（彰化県鹿港鎮地図（一部））	○		○	○
	④「高雄捷運路線圖」（高雄MRT路線図）	○			
	⑤「臺灣行政区圖」（台湾行政区分図）	○	北方位	○	
	⑥「臺南市鹿耳門天后宮交通路線圖」（台南市鹿耳門天后宮交通路線図）	○	四方位		
	⑦（付録）「臺灣行政区圖」（台湾行政区分図）	○	北方位	○	
	⑧（付録）「臺灣河川分布圖」（台湾河川分布図）	○	北方位	○	
	その他：「比例」（比率）・「圖名」（地図名）・「符號」（記号）・「圖例」（凡例）・「方向標」（方位）・「圖框」（地図の枠）・「比例尺」（スケールバー）・「比例尺的符號」（スケールバーの表記）				
H社	①【台湾行政区分位置図】（教科書中の故郷の地名の由来・故郷の地図・故郷の土地利用・故郷の気候と生活・故郷の開発・故郷の産業・故郷の遺跡・故郷のイベントなどに関する写真が掲載されている縣市を明示）				
	②「臺灣行政区圖」（台湾行政区分図）	○			
	③「彰化縣行政区域圖」（彰化県行政区分図）	○	四方位	○	
	④「彰化縣地形圖」（彰化県地形図）	○	四方位	○	○
	⑤「彰化市觀光導覽圖」（絵地図・俯瞰図・立体図）	○	四方位		

H社	⑥「彰化市衛星影像圖」(彰化市衛星地図)	○	四方位		
	⑦「嘉義縣地圖」(嘉義県地図)(地形図)	○	四方位	○	○
	⑧【付録】「臺灣行政區圖」(台湾行政区分図)	○			
	⑨【付録】「臺灣地形圖」(台湾の地形図)	○	四方位	○	○
	その他:「圖名」(地図名)・「方向標」(方位)・「比例尺」(比例尺)・「圖例」(凡例)・「符號」(記号)・「土地利用」(土地利用)				
N社	①【台湾行政区分位置図】(教科書中の故郷の地名の由来・故郷の色々なイベント・故郷の地形、気候と生活・故郷の祖先の生活・故郷の開発・故郷の産業などに関する写真が掲載されている県市を明示)		北方位	○	
	②「從日治時期的地圖中, 可以發現有的名稱和現今不同。」(日本統治時代の地図から、昔と今では地名が異なっていることがわかる)【立体図・俯瞰図】				
	③「埔里鎮旅遊地圖」(埔里鎮観光地図)	○	北方位	○	○
	④「苗栗縣行政區域圖」(行政区分図)	○	北方位	○	○
	⑤「屏東縣地形圖」(屏東県地形図)	○	北方位	○	○
	⑥「雲林縣觀光資源分布圖」(雲林県観光資源分布図)	○	北方位	○	○
	⑦「從衛星影像圖中・可以看到道路及建築物分布的情形(臺中市)。(衛星写真から道路と建物の分布の状況がわかる)				
	⑧「美濃區觀光導覽圖」(美濃区観光案内図)(絵地図)	◎	八方位	○	○
	⑨【付録】「臺灣行政區圖」(台湾行政区分図)	◎	北方位	○	
	⑩【付録】「臺灣地形圖」(台湾地形図)	◎	北方位	○	○
	その他:「地圖の要素」(地図の要素)・「圖名」(地図名)・「地圖名稱」(地図名)・「圖例」(凡例)・「符號」(記号)・「方位標」(方位)・「比例尺」(比例尺)				

表4-c 第4学年(下)

出版社名	地図名や地図に関する説明文 「」:中国語;():日本語 【】謝による補足説明	地図名	方位	縮尺	凡例
K社	①【台湾行政区分位置図】(教科書中の故郷の開発・故郷の人口変遷・故郷の産業・台湾の交通機関などに関する写真が掲載されている県市を明示)			○	
	②「明清時代中國大陸漢人來臺示意圖」(明清時代の漢人の中国から台湾への入植略図)	○			
	③「早期臺灣原住民族分布示意圖」(有史前の台湾先住民分布図)	○			
	④「清代到日治時代, 臺灣的鐵路分布圖」(清朝時代から日本時代まで台湾の鉄道分布図)	○		○	○
	⑤「隨著運輸工具的革新, 現代人們可以享受高鐵帶來一日生活圈的便利。」(交通機関の革新につれ、現代人は新幹線による一日生活圏の便利さを楽しむことができるようになった。) 【台湾新幹線の路線図】				
	⑥「運輸工具的革新, 使我們可以到國內外旅遊, 也能在家鄉接觸到國外的音樂、藝術或食物等。」(交通機関の革新で国内や海外旅行へ行けるようになった。また、故郷で海外の音楽や芸術や食べ物を楽しむことができるようになった。) 【世界地図】【経度、緯度、経線、緯線、北極圏、北回帰線、赤道、南回帰線、南極圏あり】			○	
	⑦【付録】「臺灣重要運輸網路圖」(台湾重要交通機関分布図)	○	北方位	○	○
H社	①【台湾行政区分位置図】(教科書中の故郷の人口変遷・故郷のレジャー産業などに関する写真が掲載されている県市を明示)				
	②「民國105年5月新竹縣各鄉鎮市人口數」(2016年新竹県各郷鎮市人口数)【立体図】	○	四方位	○	○
	③「民國104年南投縣人口密度圖」(2015年南投県人口密度図)	○			○
	④「高雄市交通路線圖」(高雄市交通路線図)	○	四方位	○	○

H社	⑤（付録）「臺灣行政區圖」（台湾行政区分図）	○			
N社	①【台湾行政区分位置図】（教科書中のNPO団体と施設・交通機関・故郷の人口変遷・故郷の伝統文化・故郷の異文化などに関する写真が掲載されている県市を明示）		北方位	○	
	②「民國101年苗栗縣各鄉鎮人口分布示意圖」（2012年苗栗縣各鄉鎮人口分布略図）	○	北方位	○	○
	③「苗栗縣地形及交通路線分布圖」（苗栗縣地形と交通路線分布図）（標高あり）	○	北方位	○	○

表4-d 第5学年（上）

出版社名	地図名や地図に関する説明文 「」：中国語；（）：日本語 【】謝による補足説明	地図名	方位	縮尺	凡例
K社	①「臺灣行政區圖」（台湾行政区分図）	○	北方位	○	
	②「臺灣地形圖」（台湾地形図）【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線・標高あり】	○		○	○
	③「臺灣及四周島嶼位置圖」（台湾と離島の位置図）【経度、緯度、経線、緯線あり】	○		○	
	④「世界地圖」（世界地図）【経度、緯度、経線、緯線、赤道、南回帰線、北回帰線、北極圏、南極圏あり】	○			
	⑤「臺灣地理位置圖」（台湾の地理位置図）	○	北方位	○	
	⑥「亞洲主要城市間平均航程時數表」（アジア主要都市の間の平均飛行時間表）	○			
	⑦「黒面琵鷺越冬區域分布圖。臺灣是黒面琵鷺停留度冬的地點之一。」（クロツラヘラサギ越冬地域分布図。台湾はクロツラヘラサギの越冬地の一つである）	○			
	⑧「國際上以通過英國倫敦格林威治天文臺的經線訂為0度經線。」（国際的にイギリスのロンドンにあるグリニッジ天文台を通過している経線は0度経線であると決めている。）【世界地図】【経度、緯度、経線、緯線、0度経線あり】				
	⑨「地球經度圖」（地球の経度図）【球体図】【経度、経線、0度経線あり】	○			
	⑩「地球緯度圖」（地球の緯度図）【球体図】【緯度、緯線、北極圏、北回帰線、赤道、南回帰線あり】	○			
	⑪「地球經緯度圖」（地球の経緯度図）【球体図】【経度、緯度、経線、緯線、北極圏、北回帰線、赤道、南回帰線あり】	○			
	⑫「臺灣的經緯度圖」（経緯度付きの台湾地図）【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線あり】	○	北方位	○	
	⑬「位於高緯度的北極地區，終年氣候寒冷。」（高緯度に位置している北極は通年を通して気候は寒い。）「位於低緯度的泰國普吉島，終年氣候炎熱。」（低緯度に位置しているタイのプーケットは通年を通して気候は暑い。）【緯度、緯線、66.5°N北極圏、23.5°N北回帰線、0°赤道あり】				
	⑭「臺灣島的气候，以北回歸線畫分為熱帶和副熱帶氣候。」（台湾島の気候は、北回帰線で熱帯と副熱帯（亜熱帯）気候に分かれている。）【23.5°N北回帰線あり】				
	⑮「全球板塊分布圖」（世界プレート分布図）	○			
	⑯「臺灣地形分布圖」（台湾地形分布図）	○	北方位	○	○
	⑰「季風氣候示意圖」（季節風気候略図）【23.5°N北回帰線あり】	○			
	⑱（台湾各地の平均気温）【地形図】【23.5°N北回帰線あり】				
	⑲「臺灣主要河川及水庫分布圖」（台湾の主要河川とダム分布図）	○	北方位	○	
	⑳【台湾の海岸分布図】		北方位	○	
	㉑「臺灣離島位置圖」（台湾の離島位置図）【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線あり】	○		○	

K社	②②【史前文化分布図】			○	
	②③「臺灣原住民各族分布示意圖」(台湾の先住民分布図)【台湾地形図・行政区分図】	○			
	②④「十七世紀荷蘭人占領時期的臺江内海形勢」(17世紀オランダ時代の台江内海図)【立体図・絵地図・俯瞰図】				
	②⑤「北臺灣古地圖」(北部台湾の古地図)	○			
	②⑥「鄭氏時代軍隊在臺灣駐守開墾的地區, 後來演變為當地的地名。」(鄭氏政權時代の軍隊が台湾で駐屯開墾した土地がその地名になった。)				
	②⑦「鄭氏時代經由臺灣輸出或轉運的商品種類繁多。」(鄭氏政權時代、台湾から輸出、転送した商品は種類が多い)【台湾と周辺の地図】				
	②⑧【付録】「地球経緯線操作模型組」(地球経緯線の模型製作)				
	②⑨【付録】「世界各國分布圖」(世界各国地図)【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線、南回帰線、赤道あり】	○			
	その他:「経度與緯度」(経度と緯度)「経緯線」(経緯線)「地球儀」(地球儀)「経線」(経線)「経度」(経度)「赤道」(赤道)「緯線」(緯線)「東経」(東経)「西経」(西経)「緯度」(緯度)「北緯」(北緯)「南緯」(南緯)「経緯度」(経緯度)「北回帰線」(北回帰線)(教科書の掲載順)				
H社	①「世界地圖」(世界地図)【経度、緯度、経線、緯線あり】	○			
	②「臺灣の海陸位置圖」(台湾の海陸位置図)【経度、緯度、経線、緯線あり】	○	四方位	○	○
	③「畫有經緯線的世界地圖」(経緯線付きの世界地図)【経度、緯度、経線、緯線、赤道、0度経線あり】	○			
	④「経線是連接南極和北極的線。」(経線は、地球の北極点と南極点をつなぐ線である。)(球体地図)【北極、経度、経線あり】				
	⑤「每一條與赤道平行的線稱為緯線」(赤道に並行している線は緯線という。)(球体地図)【北極、緯度、赤道あり】				
	⑥「我們可以用經度和緯度, 表示一個地方的位置; 也能夠用經度和緯度, 找到想要找的地方。」(経度と緯度を使って、一つの場所の位置も表示することができる、また、探したい場所を見つけることもできる。)		四方位	○	○
	⑦「全球板塊分布圖」(世界プレート分布図)	○			○
	⑧「臺灣位於一連串弧形島嶼的中段, 是東北亞和東南亞的中間點。」(台湾はアーチ状列島の真ん中に位置している。北東アジアと東南アジアの中間点にある。)		四方位	○	
	⑨【台湾の海岸分布図】		四方位	○	○
	⑩「臺灣地區季風氣候示意圖」(台湾の季節風気候略図)【北回帰線あり】	○	四方位		
	⑪「臺灣主要河川、水庫分布圖」(台湾の河川とダム分布図)	○	四方位	○	○
	⑫「史前文化位置圖」(史前文化分布図)	○	四方位	○	
	⑬「早期臺灣族群分布圖」(有史前台湾先住民分布図)	○	四方位	○	○
	⑭「現今臺灣原住民族分布圖」(現在台湾先住民分布図)	○	四方位	○	
	⑮「古代中國與歐洲的航海路線圖」(古代中国と欧州の航海路線図)	○			○
	⑯「荷蘭時期, 熱蘭遮城與普羅民遮城地理形勢圖。」(オランダ時代、ゼーランジャ城とプロビンシャ城の地理的形勢図)【立体図・俯瞰図】				
	⑰「當時明鄭軍隊駐紮的鎮營名稱, 有些成為現今地名。」(鄭氏政權時代に軍隊が台湾で駐屯開墾した土地はその地名になった。)		四方位	○	
	⑱「因地理位置相近, 許多福建和廣東的人們移民到臺灣。」(地理的に位置が近いので、福建や廣東から多くの移民が台湾へ来た。)				
	⑲「清代三大圳位置圖」(清朝三大用水路の位置図)	○	四方位	○	
	⑳「清朝時臺灣主要向大陸輸出稻米、蔗糖, 輸入則以藥材、紡織品(衣物)為主。」(清朝時代、台湾から中国への主要な移出品は米、黒砂糖で、中国から台湾への主要な移入品は薬、織物(衣服類)である。)(絵地図)		四方位	○	○
	㉑【台湾行政区分位置図】(教科書中に出てくる特別な天気や自然景観・植民地や地名などに関する写真が掲載されている県市を明示)		四方位	○	

H社	②【付録】「臺灣與離島位置圖」（台湾と離島の立体位置図）（経度、緯度あり）	○	四方位	○	○
	③【付録】「臺灣地形分布圖」（台湾の地形分布図）	○	四方位	○	○
	④「臺灣特殊地形景觀」（台湾の特別な地形景觀分布図）【台湾行政区分位置図】	○	四方位	○	
	その他：「経緯度」（経緯度）「経度」（経度）「経線」（経線）「東経」（東経）「西経」（西経）「経線と緯線」（経線と緯線）「地球儀」（地球儀）「赤道」（赤道）「緯線」（緯線）「北緯」（北緯）「南緯」（南緯）「北回歸線」（北回歸線）（教科書に出てくる掲載順）				
N社	①「世界地圖」（世界地図）【経度、緯度、経線、緯線、北極圏、北回歸線、赤道、南回歸線、南極圏あり】	○			
	②「臺灣衛星影像圖」（台湾の衛星地図）【経度、緯度、経線、緯線、北回歸線あり】	○			
	③「全球板塊分布圖」（世界プレート分布図）	○			
	④「臺灣與亞洲、太平洋地區各國相對位置圖」（台湾とアジア、太平洋地域各国の位置図）	○	北方位	○	
	⑤「臺灣地區範圍圖」（台湾の範囲地図）	○	北方位	○	
	⑥「臺灣位處東亞地區的交通要道上，飛往亞洲與太平洋地區主要城市的航線均十分便利。」（台湾は東アジア地域の重要交通地点であり、アジアや太平洋地域の重要都市への航行路線でとても便利である。）				
	⑦「臺灣因為地理位置的關係，成為各種候鳥主要的度冬區域或遷徙的中途站。」（台湾は地理位置の関係で、渡り鳥の重要な越冬中間地点である。）				
	⑧「標有經緯線的世界地圖」（経緯線付きの世界地図）【経度、緯度、経線、緯線、0度経線、0度緯線、23.5°N北回歸線、23.5°S南回歸線あり】	○			
	⑨「地球經度圖」（地球の経度図）【球体地図】【北極、経度、経線、0度経線、東半球、西半球あり】	○			
	⑩「地球緯度圖」（地球の緯度図）【球体地図】【経度、経線、0度経線、北極、北極圏、北回歸線、赤道、南回歸線、南極圏、南極、北半球、南半球あり】	○			
	⑪「臺灣地區的經緯度範圍」（台湾の経緯度範囲）【経度、緯度、経線、緯線、北回歸線あり】	○	北方位	○	
	⑫「臺灣地形分布圖」（台湾の地形分布図）	○	北方位	○	○
	⑬「季風氣候示意圖」（季節風氣候略図）【北回歸線あり】	○	北方位		
	⑭【台湾の海岸分布図】【立体図】				
	⑮「臺灣主要河川與水庫分布圖」（台湾の河川とダム分布図）【立体図】	○	北方位	○	○
	⑯「十七世紀荷蘭人繪製的地圖以「Formosa」標示臺灣」（17世紀オランダ人が書いた地図にフォルモサと書いてある。）【古地図】				
	⑰【史前文化分布図】				
	⑱「臺灣原住民16族分布」（台湾先住民16族の分布図）	○			
	⑲「十七世紀荷蘭人統治時期，位於臺江內海的熱蘭遮城與普羅民遮城（今赤崁樓）地理位置圖」（17世紀オランダ人統治時代、臺江内海のゼーランジャ城とプロビンシャ城（現：赤崁樓）の地理位置図）【立体図・絵地図・俯瞰図】				
	⑳「荷蘭統治時期，以臺灣為根據地，發展和中國大陸、日本、東南亞的海上貿易。」（オランダ時代、台湾を中心にして中国、日本、東南アジアと海上貿易をしていた。）				
	㉑「鄭成功攻臺路線圖」（鄭成功台湾攻略図）【立体図・絵地図・俯瞰図】				
	㉒「鄭氏時期軍隊駐紮開墾的地方有些成為今日臺南、高雄地區的地名。」（鄭氏政権時代、軍隊駐屯開墾した土地は現在の台南、高雄市内の地名になった。）				○
	㉓「鄭氏王朝對外貿易關係圖」（鄭氏政権時代の対外貿易関係図）	○			
	㉔「臺灣與中國大陸東南沿海距離較近，吸引福建、廣東兩地人民來臺開墾。」（台湾と中国の東南沿海は距離が近いので、福建、広東の人が台湾へ開墾に来た）【絵地図】				

N社	②⑤「清代臺灣三大圳位置圖」(清朝台湾三大用水路位置図)	○			
	②⑥「清領前期臺灣與中國大陸貿易示意圖」(清朝統治前期の台湾と中国の貿易略図)				
	②⑦「清領後期臺灣經濟作物與新興市鎮分布圖」(清朝統治後期、台湾の商品作物と新興市鎮分布図)	○			○
	②⑧「八通關古道路線圖」(八通関古道路線図)	○			
	②⑨【台湾行政区分位置図】(教科書中の台湾の最北端、最南端、最東端、最西端などに関する写真が掲載されている県市を明示)				
	③⑩【付録】「臺灣交通路線圖」(台湾交通路線図)	○	北方位	○	○
	③⑪【付録】「臺灣地形圖」(台湾地形図)【標高あり】	○	北方位	○	○
	その他：経緯度（経緯度）・経緯線（経緯線）・地球儀（地球儀）・経線（経線）・緯線（緯線）・経度（経度）・東経（東経）・西経（西経）・赤道（赤道）・北回歸線（北回帰線）(教科書に出てくる掲載順)				

表4-e 第5学年（下）

出版社名	地図名や地図に関する説明文 「」：中国語；（ ）：日本語 【】 謝による補足説明	地図名	方位	縮尺	凡例
K社	①「臺灣行政區圖」(台湾行政区分図)	○	北方位	○	
	②「臺灣地形圖」(台湾地形図)【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線・標高あり】	○		○	○
	③「清代前期臺灣府行政區演變示意圖」(清朝統治前期の台湾府の行政地域の変遷図)	○			
	④「臺灣番界局部圖」(台湾番界局部図)【古地図】	○	北方位		○
	⑤「宜蘭平原開墾路線圖」(宜蘭平野開墾路線図)【絵地図】	○			
	⑥「由於航運發展、貨物往來頻繁，使得府城、鹿港、艋舺成為清代臺灣三大港口市鎮。」(海運の発達によって、貨物の流通が頻繁になり、府城(台南)、鹿港、艋舺は清朝台湾三大港町となった。)				
	⑦「清末，臺灣被迫開放的港口示意圖」(清朝統治時代末期に、開放させられた台湾の港略図)	○			
	⑧「八通關古道路線圖」(八通関古道路線図)	○			
	⑨「清代後期臺灣省行政區圖」(清朝統治時代後期の台湾省の行政区分図)	○			
	⑩「颱風衛星照片」(台風の衛星写真)	○			
	⑪「民國一百年南瑪都颱風路徑圖」(2011年台風11号ナンマドルの通路地図)【経度、緯度、経線、緯線あり】	○			
	⑫「臺灣各縣市歷年來土石流發生統計條數」(台湾各県市における歴年土石流の発生回数)	○	北方位	○	
	⑬「臺灣自然保留區分布圖」(台湾の自然保存地域分布図)	○			
	⑭「臺灣的國家公園」(台湾の国定公園分布図)	○			
	⑮(付録)「世界各國分布圖」(世界地図)【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線、南回帰線、赤道あり】	○			
H社	①「清末臺灣開放港口位置圖」(清朝統治時代末期に開放させられた台湾の港の位置図)	○	四方位	○	
	②「民國104年臺閩人口分布圖」(2015年の台湾における閩南人の人口分布図)	○	四方位	○	○
	③「可以用什麼方式劃分臺灣的區域呢？」(どんな方法で台湾の地域を区分できますか。)【台湾の立体絵地図】				
	④「臺灣四大區域圖」(台湾の四大地域区分図)【立体図】	○	四方位	○	
	⑤「臺灣北部區域」【台湾北部地域立体図・絵地図・俯瞰図】	○	八方位		
	⑥「臺灣中部區域」【台湾中部立体図・絵地図・俯瞰図】	○	八方位		
	⑦「臺灣南部區域」【台湾南部立体図・絵地図・俯瞰図】	○	八方位		

H社	⑧「臺灣東部區域」【台湾東部立体図・絵地図・俯瞰図】	○	八方位		
	⑨「臺灣、金門與馬祖地理位置示意圖」（台湾、金門・馬祖の地理位置略図）【立体図】	○	四方位	○	○
	⑩「臺灣主要公路、鐵路、航空站、港口分布圖」（台湾の主要道路、鉄路、空港、港湾の分布図）	○	四方位	○	○
	⑪「臺灣國際航線示意圖」（台湾の国際航空路線地図）【世界地図】	○			
	⑫「臺灣與各離島位置圖」（台湾と離島の位置図）【経度、緯度あり】	○	四方位	○	○
N社	①「日治時期，由臺灣總督府出版日本人繪製的觀光的花蓮港（又名大太魯閣交通鳥瞰圖）局部圖，描繪從蘇澳到花蓮港之間的地形，其中以太魯閣一帶的山地最為突顯。」（日本統治時代、台湾総督府出版の日本人が絵図、観光の花蓮港（別名は大太魯閣交通鳥瞰圖）局部図は、蘇澳から花蓮港までの地形が描かれている。太魯閣（タロコ）の周辺山地は一番突出している。）【立体図・絵地図・俯瞰図】				
	②「日本接收臺灣行進路線圖」（日本軍台湾行軍路線図）	○			
	③「從荷西時期到日治時期，由於漢人持續移入墾殖，使臺灣人口漸增，逐漸由南部往北部，自西部沿海往東部內陸平原及山區開發，形成許多城鄉。」（オランダ、スペイン統治時代から日本統治時代にかけて、漢人の入植開墾によって、台湾の人口がだんだん増えてきて、南部から北部へ、西部沿海から東部内陸平野及び山地へ開発していったため、都市と田舎ができるようになった。）				○
	④【臺灣四大地域圖】				
	⑤【北部地域の立体図・絵地図・俯瞰図】				
	⑥【中部地域の立体図・絵地図・俯瞰図】				
	⑦【南部地域の立体図・絵地図・俯瞰図】				
	⑧【東部地域の立体図・絵地図・俯瞰図】				

表4-f 第6学年（上）

出版社名	地図名や地図に関する説明文 「」：中国語；（）：日本語 【】 謝による補足説明	地図名	方位	縮尺	凡例
K社	①「民國104年臺灣人口分布圖」（2015年の台湾人口分布図）	○	北方位	○	
	②「民國104年臺灣主要都市分布圖（以圓圈表示）」（2015年の台湾主要都市分布図（丸で表示））	○	北方位	○	
	③「從臺灣地形圖中，可以得知黃棕色代表的山地面積廣大，綠色的平原、盆地和臺地則分布於西部。再藉由第75頁臺灣人口分布圖透明片及地形圖的堆疊，了解人口分布與地形的關係。」（台湾の地形図を読むと、その大部分が黄土色であるから山地の面積の広さが分かる。緑色の平野、盆地や台地は西部に分布していることが分かる。また、台湾の人口分布図を地形図と重ねることを通して、人口分布と地形の関係が分かる。）【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線・標高あり】			○	○
	④「透過觀察臺灣人口分布圖和地形圖我們可以知道人口和地形之間的關係。」（台湾人口分布図と地形図を通して、人口分布と地形の関係が分かるようになる。）【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線・標高あり】			○	
	⑤「透過四通八達交通路線和運輸工具，不同地區的特產，可以迅速的運送到臺灣各地及國外，滿足消費者的需要。」（便利な交通機関を使って、異なる地域の特産が早く台湾の各地及び海外へ運送することができ、消費者を満足させる。）		北方位	○	○
	⑥「臺灣北部區域圖」（台湾北部地域図）【絵地図】	○			
	⑦「臺灣中部區域圖」（台湾中部地域図）【絵地図】	○			
	⑧「臺灣南部區域圖」（台湾南部地域図）【絵地図】	○			
	⑨「臺灣東部區域圖」（台湾東部地域図）【絵地図】	○			
	⑩「金門行政區圖」（金門行政区分図）	○			
	⑪「連江縣（馬祖列島）行政區圖」（連江縣（馬祖列島）行政区分図）	○			

H社	①「臺灣港口分布圖」(台湾の港湾分布図)	○	四方位	○	○
	②「國家公園和自然保留區分布圖」(国定公園と自然保存地域分布図)	○	四方位	○	○
	③「臺灣位於環太平洋地震帶上, 所以, 每年大小地震不斷。」(台湾は環太平洋断層に位置しており、地震が頻繁に発生している。)				
	④「全球暖化對臺灣的警訊」(地球温暖化の台湾に対する影響)	○	四方位	○	
	その他:「土地利用」(土地利用)				
N社	【付録】「世界行政區域圖」【世界行政区分図】【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線、南回帰線、赤道あり】	○			

表4-g 第6学年(下)

出版社名	地図名や地図に関する説明文 「」:中国語;():日本語 【】謝による補足説明	地図名	方位	縮尺	凡例
K社	①「臺灣在亞洲東部的位罝圖」(アジア東部に位置している台湾の地図)	○			○
	②「西元2013年全球總生育率圖。」(2013年の世界の出生率)	○			
	③「西亞地區、中國大陸、俄羅斯及美國是全球主要礦產國或地區。圖為西亞地區、中國大陸、俄羅斯及美國的石油、煤炭、天然氣蘊藏量。」(西アジア地域、中国、ロシア及びアメリカの世界主要の鉱物産地。地図に表示されているのは西アジア地域、中国、ロシア及びアメリカの石油、石炭、天然ガスの埋蔵量である。)				
	④「西元2008年的辛樂克颱風, 造成菲律賓、臺灣、中國大陸及日本各地災情。」(2008年の台風13号シンラコウによって、フィリピン、台湾、中国及び日本はひどい被害を受けた。)				
	⑤「西元2010年冰島艾雅法拉火山爆發, 火山灰嚴重影響歐洲航班(圖中橘色國家的航空受到影響。)(2010年にアイスランドエイヤフィヤットラヨークトル火山が爆発したため、火山灰の影響で欧州の国際線に影響が出た。(オレンジ色の部分は影響が出たところ))				
	⑥【付録】「世界各國分布圖」(世界地図)【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線、南回帰線、赤道あり】	○			
H社	①「世界各國主要宗教圖」(世界各国の主要宗教分布図)	○			○
	②「世界知名文化圖」(世界で有名な古文化位置図)	○			
	③「由於科技的發達, 各國的人們可以透過電影、電視、電腦、手機等科技產品, 相互認識彼此的文化。」(科学の發達によって、世界各国の人は映画、テレビ、パソコン、携帯電話などのハイテク製品を通して、互いの文化を認識している。【世界地図】				
	④「大部份信奉猶太教的以色列與周圍信奉伊斯蘭教的國家間, 常因宗教文化不同和領土糾紛等因素發生衝突與戰爭。」(ユダヤ教を信じるイスラエルと周辺のイスラム教を信じる国は、よく宗教間や領土問題で争っている。【世界地図の球体図】				
	⑤「歐盟的會旗會隨著會員國的持續增加到處飄揚; 歐元則是目前大部份會員國之間通用的貨幣。」(EUの欧州旗は連盟国の増加によって増える。通貨のユーロは多くの連盟国の中で流通している。)				○
	【付録】「世界行政區域圖」(世界行政区分図)【経度、緯度、経線、緯線、北回帰線、南回帰線、赤道あり】	○			○
N社	①「沙塵暴環繞地球一周路線示意圖」(黄砂が地球を一周している図)	○			○
	②「標識放流鯨鯨洄游路線示意圖」(ジンベイザメの行動範囲の図)	○	北方位		○
	③「世界各國人口成長率示意圖」(世界各国の人口増加率略図)	○	北方位	○	○
	④「世界各國人均國民總收入示意圖」(世界各国のGDP略図)	○	北方位	○	○
	⑤「世界飢餓人口比例示意圖」(世界飢餓人口比率図)	○	北方位	○	○
	⑥「全球MERS病例分布示意圖」(世界MERS感染図)	○	北方位	○	○

(3社の社会科教科書より謝君慈作成)

以下では、3社の地図名・方位・縮尺・凡例に関する学習内容、及び「國民中小學九年一貫課程綱要社會學習領域」の「分段能力指標」（「段階的能力指標」）の1-2-4という項目に求められている「距離を測る」・「地図を読む」・「記号を使って簡単な平面図を描く」という、地図に関する能力を育てる学習内容についての分析を行う。

1) 地図名・方位・縮尺・凡例に関する学習内容の比較

表5は、表6の松井（2007）の整理した主な地図関連の学習内容に準じて、台湾の教科書における地図名・方位・縮尺・凡例という地図の要素に関する3社の記載内容を整理したものである。まず、表5と表6を比較してみると、大きな違いは以下のようなものである。まず日本の教科書に記載されている「等高線」・「地球儀での方位」に関する記述は、台湾の教科書には見られない。また、台湾の教科書では縮尺表記を「スケールバー」で表示するが、日本の教科書では「きょうりがわかるめもりのついたものさし」の他に「分数表記の縮尺」を使って表している。次に、台湾の3社の記載内容を比較した結果について以下で述べる。

まず、「地図名」に関する説明は、出版社によって異なることが分かった。また、表4の「地図名や地図の説明文」を見ると、重要な主題を「地図名」にするものもあるが、長い説明を「地図名」として書き記している地図が多く見られた。例えば、3社の第5学年（上）の教科書では、地図の下に「國際上以通過英國倫敦格林威治天文臺的經線訂為0度經線。」（國際的にイギリスのロンドンにあるグリニッジ天文台を通っている経線は0度経線であると決めている。）（K社）、「我們可以用經度和緯度，表示一個地方的位置；也能夠用經度和緯度，找到想要找的地方。」（経度と緯度を使って、一つの場所の位置も表示することができる、また、探したい場所を見つけることもできる。）（H社）、「臺灣因為地理位置的關係，成為各種候鳥主要的度冬區域或遷徙的中途站。」（台湾は地理位置の関係で、渡り鳥の重要な越冬中間地点である。）（N社）という長い説明文的な地図名を表記する例もみられた⁶⁾。

「方位」については、K社とH社は「方向標」という用語を使っている。これに対しN社は、「方位標」という名称を使っている。方位の記号に関して、表4で示したように、K社とN社は各学年の大部分の地図で北方位の記号を用いているのに対して、H社は四方位と八方位の記号を用いている。また、「當地圖有方向標時，我們

可以利用方向標找到北方。當地圖沒有方向標時，可以利用圖框來判斷方向：圖框的上方是北方，下方是南方，右方是東方，左方是西方。」（地図に方位が付いていない場合、地図の枠で方向を判断することができる。地図の枠の上は北方向で、下は南方向、右は東方向、左は西方向となっている。）という方向を判断する方法についての記述は、K社の学習内容にしか見られなかった。

「縮尺」については、台湾ではスケールバーを「比例尺」と称し、3社ともこの比例尺で表示している。しかし、4年生の数学科（算数科）の教育課程では「比例」（「比率」）問題⁷⁾をまだ学習していない。そこで、比例尺に関する学習内容が如何に取り扱われているのかは次節で説明することとする。

「圖例」（「凡例」）に関する3社の説明は「符号」（「記号」）に繋がる内容とほぼ同じである。図1で3社の「台湾の交通機関」に関する「圖例」（凡例）を比較した。これらに関しては「高鐵（新幹線の鉄路）」・「高速鐵路（新幹線の鉄路）」・「鐵路（在来線の鉄路）」に関しては、3社同じ記号が使用されていることが分かった。一方、「縣市界（県市界）」・「機場（空港）」・「國際航空站（国際空港）」・「國內航空站（国内空港）」・「港口（港）」・「國際港（国際港）」等については、各出版社によって、異なった記号が使用されている。

2) 地図上の距離を測定する方法に関する学習内容の比較

表7には、比例尺を用いて地図上の距離を測定する方法に関する学習内容を示した。K社はものさしで地図上の長さを測って、その長さが実際にはどのぐらいの距離にあたるかについて換算する方法を記載している。H社は地図上の比例尺を利用して、コンパスと紐で点と点の間の実際距離を測定するという二つの方法を取り上げた。N社は、K社とH社のようにイラストで測定方法を説明せず、実際に歩いてみるものと地図上の距離を測って比例尺で実際距離を計算するという二つの方法を提示している。

その他、3社の第5学年の教科書では、台湾島の地図上で島の南端から北端までの距離、東端から西端までの距離と海岸線の総延長距離を測定する学習内容が見られた。しかし3社ともに、これらの距離を測るのに必要な比例尺などの縮尺情報は記載されていない。

表5 地図名・方位・縮尺・凡例に関する学習内容の比較

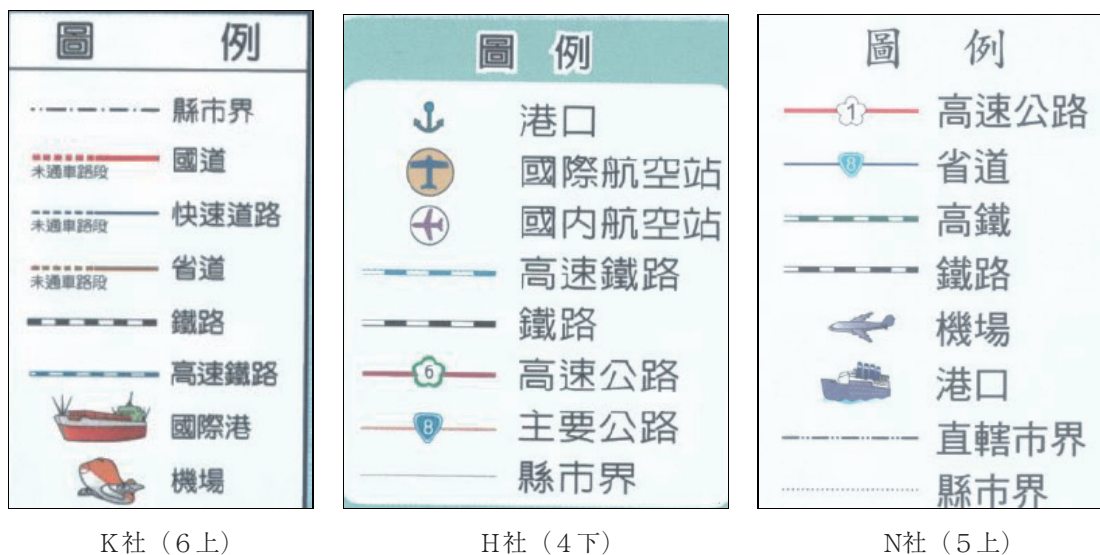
地図の要素	出版社名	地図名・方位・縮尺・凡例に関する説明 「」：中国語（ ）：日本語【】：謝による補足説明
地図名	K社	「每一幅地圖都有一個圖名，圖名通常選用圖中最重要的地名，或所包含的地區名稱。」 (各地図に地図名は必ず入っている。地図名は必ず一番重要な地名や含まれている地域名を使っている。)【第4学年(上)】
	H社	「 圖名 ：地圖主要的地名或主題」 (地図名：地図の主要地名或いは主題である。)【第4学年(上)】
	N社	「 地圖名稱 ：說明地圖的類別和功能。」 (地図名：地図の分類と役割を説明する。)【第4学年(上)】
方位	K社	「當地圖有方向標時，我們可以利用方向標找到北方。當地圖沒有方向標時，可以利用圖框來判斷方向：圖框的上方是北方，下方是南方，右方是東方，左方是西方。」 (地図に方位が付いていると、方位を使って北方向を探することができる。地図に方位が付いていない場合、地図の枠で方向を判断することができる。地図の枠の上は北方向で、下は南方向、右は東方向、左は西方向となっている。)【第4学年(上)】
	H社	「 方向標 ：辨識正確位置。」(方位：正確な位置を認識することができる。)【第4学年(上)】
	N社	「 方位標 ：用來辨識方位，讓我們找出地圖上的北方。」 (方位：方位を認識し、地図上の北方向を探することができる。)【第4学年(上)】
縮尺	K社	「航空照片圖或地圖所包含的範圍，都比實際地區縮小很多。縮小的程度，稱為 比例尺 。地圖上， 比例尺的符號 通常用線段的長度來表示實際的距離。使用 比例尺 可以計算地圖中各地點之間的實際距離。」 (空中写真や地図に書いてある範囲は実際の範囲より縮小されている。縮小された程度を示したものを比例尺と言います。地図上の実際の距離を、線の長さで表示する。比例尺を使って、地図の中にある点と点の間の実際の距離を計算することができる。)【第4学年(上)】
	H社	「 比例尺 ：代表地圖縮小的比例，以計算實際距離。」 (比例尺：地図の縮小された比率であり、これを用いて実際の距離を計算する。)【第4学年(上)】
	N社	「 比例尺 ：是用來代表地圖上的長度在實際上的距離。」 (比例尺：実際の距離を地図上の距離に表示するもの。)【第4学年(上)】
凡例	K社	「在地圖上的道路、山地、河川和各種景物，為了方便閱讀，都用 符號 表示。這些表示實際景物的 符號 ，稱為 圖例 ，如⊗代表學校、⊕代表醫院。」 (地図上にある道路、山地、河川と事物を分かりやすく読むために、記号で表示する。実際の事物を表示するこれらの記号を凡例と言います。例えば、⊗は学校で、⊕は病院である。)【第4学年(上)】
	H社	「 圖例 ：說明各種符號所代表的意義。」 (凡例：各記号のそれぞれの意味を説明する。)【第4学年(上)】
	N社	「 圖例 ：運用簡單的符號表示地圖上實際的地點或事物。」 (凡例：簡単な記号で地図上の実際の場所や事物を表示する。)【第3学年(下)】【第4学年(上)】

(3社の社会科教科書より謝君慈作成)

表6 日本の小学校の「社会」教科書における主な地図関連の学習内容（2006）

第3・4学年	A社(上)	八方位、きょりがわかるめもりのついたものさし
	A社(下)	地図帳のさくいんの見方（経線・緯線）、等高線の見方（断面図を含む）、地図記号・方位記号、地せい図・鳥かん図・土地利用図・5万分の1の地図
	B社(上)	方位じしん・四つの方位、地図記号
	B社(下)	八方位、等高線、縮尺（2万5千分の1の地図・5万分の1の地図・20万分の1の地図）
	C社(上)	方位（八方位）、いろいろな地図記号
	C社(下)	縮尺（2万5千分の1の地図・5万分の1の地図・20万分の1の地図）
	D社(上)	四方位・方位じしん
	D社(下)	八方位、縮尺、等高線・切り取った山を横から見た様子
	E社(上)	方位の調べ方（八方位）、絵地図の作り方、地図記号をつかった地図・地図記号のいろいろ
	E社(下)	土地利用、縮尺、等高線・だん面図、地図記号
第5学年	A社(上)	土地利用図、主題図
	A社(下)	緯度と経度、緯線・経線
	B社(上)	緯度・経度、経線と緯線、地球儀での方位・距離
	B社(下)	
	C社(上)	緯度と経度、緯線・経線、土地利用
	C社(下)	
	D社(上)	土地利用、地球儀での方位・距離
	D社(下)	緯度と経度
	E社(上)	土地利用
	E社(下)	緯度と経度

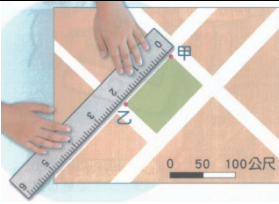
（平成18年度小学校社会科第3・4学年および第5学年教科書より松井作成）
出典：松井（2007）：「『学校地図帳』への想いと検定制度あれこれ」地図中心



注）引用図については各出版社の使用許可承諾済みである

図1 「台湾の交通機関」地図上にある3社の「圖例」（凡例）

表7 地図上の距離を測定する方法に関する学習内容の比較

出版社名	地図上の距離を測定する方法に関する説明 「」：中国語（）：日本語【】：謝による補足説明
K社	 「0 50 100公尺」表示地圖上1公分代表實際距離50公尺。例如：地圖上，甲到乙的距離為2公分，則實際距離為100公尺。」 （0 50 100公尺：地圖上の1センチは實際距離の50センチにあたる。例えば、甲から乙までの距離が2センチなら、實際距離は100メートルである。）【第4学年（上）】
H社	「如何在地圖上測量距離」（地図上の距離を測る）【第4学年（上）】 「透過地圖上的比例尺，我們可以利用圓規或細繩，測量地圖上任何兩點之間的實際距離。」 （地圖上の比例尺を使って、コンパスや紐で点と点の間の實際距離を測ることができる。） 「秘密武器：圓規」（秘密道具：コンパス） 「步驟1 確認地圖比例。利用圓規在比例尺上量出一段間距。」 （1. 地圖の比率を確認する。コンパスでスケールバーの一単位を測る。） 「把圓規打開，和比例尺0到1公里的距離一樣長。」（スケールバーの0～1公里（キロ）までコンパスを開く。） 「這段間距代表的實際距離是1公里」（地圖上のこの距離は實際距離1キロに相当する。） 「步驟2 測量距離倍數在間距固定不變的情況下轉動圓規，測量地圖上兩地是圓規間距的幾倍。」 （2. コンパスで測った距離を甲から乙まで動かして、两点間の距離はコンパスで測った距離が何倍であるか測る。） 把圓規在甲、乙間轉動，測出轉動4次。（コンパスで甲～乙まで4回動かした。） 「步驟3 計算實際距離」（3. 實際距離を計算する） 「將圓規間距乘以地圖兩地間距倍數，算出實際的距離。」 （コンパスで測った距離にその倍數にかけると、實際の距離になる。） （1（公里）×4（次）=4公里） 「秘密武器：細繩」（秘密道具：紐） 「步驟1 測量地圖上兩地繩長」（1. 紐で地圖上の甲～乙の距離を測る） 「依照道路形狀，將細繩排在兩地間的道路上量出繩長。」 （道路に沿って紐で两点間の距離を測る。） 「步驟2 將細繩與比例尺做對照」 （2. 紐をまっすぐ引っ張ってスケールバーに照らし合わせる） 「把繩子拉直後，剛好是比例尺上的4公里。」 （紐の長さはちょうどスケールバーの4キロに相当する。） 「步驟3 計算實際距離」（3. 實際距離を計算する） 由測量可知甲、乙兩地之間實際距離為：4（公里） （つまり、甲～乙の實際距離は4キロである。）  
N社	【第4学年（上）】 「A：我們怎麼估測兩地間的距離？」（A：二つの場所の間の距離をどうやって測る？） 「B：可以實際走走看。」（B：実際に歩いてみる。） 「C：還可以量出地圖上的距離，再用比例尺來估測實際距離。」 （C：まず地圖上の距離を測って、比例尺で實際距離を測る）

（3社の社会科教科書より謝君慈作成）

注）引用図については各出版社の使用許可承諾済みである

3) 地図の活用方法に関する学習内容の比較

地図の活用方法に関しては、3社の学習内容ともにそれぞれが取り上げた地図によって、どのような地図能力が身につけられるかについて説明されている（表8）。K社では、4.と5.「人口分布図」・4.「都市分布図」・5.「地形図」、H社では、2.「行政区分図」・3.「地形図」・4.「観光案内図」、またN社では3.「遺跡案内図」・4.「インターネットの電子地図」・4.と9.「衛星写真」・4.「現場写真」・5.「ガイドマップ」・6.「行政区分図」・7.「地形図」・8.「観光資源分布図」を取

り上げて、それぞれの地図の持つ特徴を理解するという学習内容がみられた。これらの中で、実際に地図を用いて出発地から目的地まで着く方法の指導、並びに「高度表（標高）」に関する学習内容を取り扱っているのはK社だけである。しかしながら、K社の教科書には地図を描く方法に関する学習内容は掲載されていない。一方、H社では、実際に歩きながら地図を描かせるという学習内容が取り上げられており、またN社では地図をトレースする方法に関する学習内容がみられた。

表8 地図の活用方法に関する学習内容の比較

出版社名	地図の活用方法に関する学習内容 「」：中国語（ ）：日本語【】：謝による補足説明
K社	【第4学年（上）】 「閱讀地圖有一套」（地図を読む方法） 「目前位置」（現在地） 「在地圖上確認自己的位置→」（地図上で現在地を確認する→） 「確認方位」（方位の確認） 「以自己為中心，利用方向標確認方位→」（自分を中心にし、方位で方向を確認する） 「確認目的地」（目的地の確認） 「找出要去的地方位在地圖的哪一個方向。」（行きたい所は地図のどの方向にあるか探す） 「出發」（出発） 「用筆標示出路線後朝目的地出發。」（ペンで路線を書いてから目的地に向かって出発する。） 【第6学年（上）】 「透過閱讀地圖，我們可以探索臺灣地理環境的差異、人口分布情形及人口遷移的原因。」 （地図を読むことを通して、台湾の地理環境の違い、人口分布や人口変遷の原因を探ることができる。） 「透過地圖認識臺灣人口分布和各地自然環境的關係。」 （地図を通して、台湾の人口分布と自然環境の関係が分かるようになる。） 「為了解臺灣人口和都市分布情形，可以利用人口和都市分布圖進行觀察。」 （人口分布図と都市分布図を観察することによって、台湾の人口と都市の分布が分かる。） 「從臺灣地形圖中，可以得知黃棕色代表的山地面積廣大，綠色的平原、盆地和臺地則分布於西部。再藉由臺灣人口分布圖透明片及地形圖的堆疊，了解人口分布與地形的關係。」 （台湾の地形図を読むと、その大部分が黄土色であるから山地の面積の広さが分かる。緑色の平野、盆地や台地は西部に分布していることが分かる。また、台湾の人口分布図を地形図と重ねることを通して、人口分布と地形の関係が分かる。） 「認識高度表」（標高の学習）（第6学年（上）） 「通常用黃棕色表示地表高聳的山地，愈偏棕色，表示高度愈高；愈偏黃色表示高度愈低。圖中黃色、黃棕色代表的丘陵和山地，山地主要分布在島上的中央部分，並向東延伸到東部海岸。通常用綠色表示地表低平的陸地，綠色愈淺表示高度愈高；綠色愈深表示高度愈低。圖中綠色、淺綠色代表的平原、盆地和臺地，主要分布在西部。通常用藍色色系表示湖泊、河川和海洋等水域。」 （一般的に黄土色で塗られた所は高い山で、茶色が濃くなればなるほど高くなる。黄色が強くなれば高度が低くなる。図中の黄色及び黄土色の所は丘陵地や山地を表している。山地の主要な分布は島の中央部にあり、東部海岸線へ伸びている。一般に緑色で塗られた所は平地で、緑色が薄くなればなるほど高度が高くなり、緑色が濃くなればなるほど高度が低くなる。図中の緑色、黄緑色は平野、盆地、台地であり、主要な分布は台湾西部である。一般的に青色で塗られた所は湖水、河川や海洋などの水域を表している。）

H 社	【第3学年（下）】 1. 「如何繪製簡單平面圖」（簡單な平面図を描く方法） 「我們可以繪製簡單的地圖，標示地方重要場所的位置，例如：學校、公園、圖書館等，讓我們更了解居住的地方。」（わたし達は簡単な地図を描いて、その上に地域の重要な場所、たとえば学校、公園、図書館などの位置を表示することを通して、住む所をもっと認識することができる。） 1) 「步驟1 選定地點」（1. 場所を選ぶ） 「列舉重要場所並選定能到達的地點。」（重要な場所を取りあげ、その中から歩いて行ける場所を選ぶ。） 「我們可以和同學討論找出學校附近的公共場所。」（友達と話し合い、学校の近くの公共施設を選ぶ。） 2) 「步驟2 實際走訪」（2. 実際に訪ねる） 「從學校出發，實際走訪選定地點。」（学校から出発して実際に選定した場所を訪ねる。） 「同學們在師長的帶領下，從學校走到圖書館。」（先生と一緒に学校から図書館まで歩く。） 3) 「步驟3 記錄路線」（3. ルートを記録する） 「每到一個定點，簡單記錄行經路線。」（ある地点に着いたら、簡単にそのルートを記録する。） 「我們可以記錄從學校走到圖書館所經過的路。」（学校から図書館までのルートを記録する。） 4) 「步驟4 繪製地圖」（地図を描く） 「依路線畫出簡易的街道地圖，並標上路名。」（記録したルートによって、簡単なルートマップを描いて、地図に道路名をつける。） 「我們在紙上畫出學校附近的街道，並標上街道名稱。」（紙に学校の周辺のルートを描いて、道路名をつける。） 5) 「步驟5 設計符號」（5. 記号を作る） 「為每一個定點，設計一個代表符號。依路線畫出街道圖，再將定點位置用符號標示出來。」（一つ地点のために一つの代表記号を作る。記録したルートによって、ルートマップを描く。さらに地点の位置を記号で表示する。） 「我們為圖書館設計代表的符號，再將符號標示在地圖道路上。」（わたし達は図書館のために記号を作って、その記号をルートマップに描いて表示する。） 【第4学年（上）】 2. 「透過行政區域圖可以觀察地方區域的畫分。」（行政区分図を通して、地域の区分を観察することができる。） 3. 「我可以從地形圖了解家鄉地形的起伏狀態。」（地形図を見ると、故郷の地形の高低起伏の形態が分かる。） 4. 「觀光導覽圖可用來標示觀光景點與路線。」（観光案内図に観光スポットと路線が表示される。）
N 社	【第3学年（下）】 1. 「閱讀地圖、運用住址、實地探索或訪談都能幫助我們認識居住的地方。」（地図を読んだり、住所を活かしたり、現地調査や聞き取りをしたりすることを通して、住んでいる所が認識できる。） 2. 「我們可以從地圖上找到住家附近的政府機關、公共設施與活動場所等資訊，藉此認識居住的地方。」（地図から家の近くの公官庁、公共施設などに関する情報を得ることができ、自分の住む所を認識できる。） 3. 「古蹟導覽地圖幫助我們認識地方的文化。」（遺跡案内地図を通して、地域の文化を認識できる。） 4. 「我們可以透過電子地圖網站中的電子地圖、衛星影像或實景地圖，了解住家附近的街道分布、自然環境及景色。」（インターネットの電子地図、衛星写真、現場写真を通して、家の近くの道筋、自然環境と景観が分かる。） 【第4学年（上）】 5. 「旅遊地圖，能做為旅遊規劃的參考。」（ガイドマップは旅行計画の参考になる。） 6. 「行政區域圖中可以看出各鄉鎮市的範圍與位置。」（行政区分図を見ると、各郷鎮市の範囲と位置が分かる） 7. 「地形圖中，可以看出地勢變化和重要的山脈、河流。」（地形図から地勢変化と重要な山脈と河川が見られる。） 8. 「觀光資源分布圖中，可以知道各鄉鎮市的觀光資源分布情形。」（観光資源分布図を見ると、各郷鎮市の観光資源の分布が分かる） 9. 「衛星影像圖中・可以看到道路及建築物分布的情形。」（衛星写真から道路と建物の分布が見られる。） 10. 「家鄉地圖繪製流程與運用」（故郷の地図を描く方法） 1) 「先確認繪製的家鄉地圖主題。」（1. 描きたい故郷の地図の主題を決める。） 2) 「依主題選擇一幅合適的底圖，並寫下圖名。依照底圖描出家鄉的輪廓和比例尺，並加上方位標。」（主題によって適当な下図を選んで、地図名を書く。下図に沿って故郷の輪郭と比例尺を描いて、方位を付ける。） 3) 「在畫好輪廓的家鄉地圖上，畫出主要的街道。」（輪郭ができた故郷の地図に主な道を描く。） 4) 「參考地圖上的圖例，以簡單的符號設計圖例，然後繪製在地圖上。」（下図の凡例を参考して、簡単な記号で凡例を作って、地図に描く。）

(3社の社会科教科書より謝君慈作成)

4) 経緯度に関する定義と学習内容の比較

経緯度に関する学習内容は、3社ともに第5学年（上）の教科書で「認識経度」（経度の学習）・「認識緯度」（緯度の学習）・「臺灣的経緯度」（台湾の経緯度）「緯度與氣候的關係」（緯度と氣候の關係）等の項目を設けて説明している（表9）。この他、「経緯線」（経緯線）や「経緯線的基本概念」（経緯線的基本概念）という項目を設けてその内容を取り扱っているのは、K社とN社

である。また、各社での経緯度に関する用語の説明の違いは以下になっている。

「赤道」と「イギリスのロンドンにあるグリニッジ天文台を通過している経線」を、K社は「0度緯線」と「0度経線」と記述しており、H社は「緯度0°」（地図の中の表示）と「0度経線」といい、N社は「0度緯線」と「経度0度」と記している。

表9 経緯度に関する定義と学習内容

出版社名	経緯度に関する定義と学習内容 「」：中国語（ ）：日本語【】：謝による補足説明 部は経緯度に関する定義
K社	【第5学年（上）】 1. 経緯線（経緯線） 「<u>地球儀上には縦と横に交錯する多くの線を見ることができ、北極点から南極点までつなぐ線を経線といい、その経線上に書かれた数字を経度という。地球の真ん中を横切っている線を赤道といい、赤道に平行する線を緯線という。その緯線上に書かれた数字を緯度という。</u>」 「<u>経緯線は位置を表示する仮の線で、地球上には実在しない線である。</u>」 2. 認識経度（経度の学習） 「<u>世界各國將通過英國倫敦格林威治天文臺的經線訂為0度經線，以東稱為東半球，以西稱為西半球。東半球的經度稱為東經，西半球的經度稱為西經，東經和西經各有180度。國際上通常以E表示東經，W表示西經。</u>」（<u>世界各國がイギリスのロンドンにあるグリニッジ天文台を通過している経線は0度であると決めている。0度経線より東側は東半球といい、0度経線より西側は西半球という。東半球的経度は東經といい、西半球的経度は西經という。東經と西經は180度までである。國際的にEは東經で、Wは西經である。</u>） 3. 認識緯度（緯度の学習） 「<u>赤道為0度緯線。赤道以北稱為北半球，赤道以南稱為南半球。北半球的緯度稱為北緯，南半球的緯度稱為南緯。北緯和南緯各有90度。國際通常以N表示北緯，S表示南緯。</u>」（<u>赤道は0度緯線である。赤道より北側は北半球といい、赤道より南側は南半球という。北半球的緯度は北緯と言いい、南半球的緯度は南緯という。北緯と南緯は90度までである。國際的にNは北緯で、Sは南緯である。</u>） 4. 臺灣的経緯度（台湾の経緯度） 「<u>利用經緯度，可以明確標示出地球上每一個地點的位置。臺灣本島大約介於北緯22度至25度，東經120度至122度之間。</u>」（<u>經緯度を使って、地球上の場所の位置を正確に表示することができる。台湾本島はほぼ北緯22度から25度まで、東經120度から122度までの間に入る。</u>） 5. 緯度與氣候的關係（緯度と氣候の關係） 「<u>位於高緯度的北極地區，終年氣候寒冷。（高緯度に位置している北極は通年を通して氣候は寒い。）</u> 「<u>位於低緯度的泰國普吉島，終年氣候炎熱。</u>」（<u>低緯度に位置しているタイのプーケットは通年を通して氣候は暑い。</u>） 「<u>臺灣島的氣候，可以北回歸線為界。北回歸線以北的地區，緯度較高，屬於副熱帶氣候；以南的地區，緯度較低，屬於熱帶氣候。</u>」（<u>台湾島の氣候は北回歸線を境にする。北回歸線より北側は、緯度が高く、副熱帶（亜熱帶）氣候である。北回歸線より南側は、緯度が低く、熱帶氣候である。</u>） 「<u>北回歸線就是北緯23.5度的緯線，是陽光垂直照射地球表面最北的緯線。一般以北回歸線為熱帶與副熱帶氣候的分界線。</u>」（<u>北回歸線は北緯23.5度の緯線で、太陽が垂直に地球の表面に当たる一番北側の緯線である。一般的に北回歸線は熱帶と副熱帶（亜熱帶）氣候の境界線となる。</u>）
H社	1. 認識経度（経度の学習）【第5学年（上）】 「<u>觀察地圖，可以發現上面有許多直線和橫線，這是為了明確標示出每個地方的地理位置，以方便尋找和辨識。連接地球南極和北極的線稱為經線。目前國際上將通過英國倫敦格林威治天文臺的經線定為0度。0度經線以東是東半球，經度稱為東經，以西是西半球，經度稱為西經。東西半球的經度各有180度。</u>」（<u>地圖を觀察すると、縦線と横線がたくさんあることに気付くでしょう。これは場所の地理位置を正確に表示するためと場所の特定を容易にするための線である。地球の北極点から南極点までつなぐ線を経線という。國際的にはイギリスのロンドンにあるグリニッジ天文台を通過している経線は0度であると決めている。0度経線より東側は東半球といい、その経度は東經という。0度経線より西側は西半球といい、その経度は西經という。東半球と西半球的経度は180度までである。</u>） 「<u>東經、西經通常以英文符號E、W表示。</u>」（<u>東經、西經は一般的に英語の記号のE、Wで表示する。</u>）

「經線和緯線是人們為了標示地理位置所訂出的假想線。原本地球上的任何一點都可以作為0度經線，因十九世紀時，大多數在海上航行的船隻已將通過格林威治天文臺的經線當作參考。因此，在討論經線的會議上，學者們便將0度經線選在格林威治天文臺。」（經線と緯線は地理位置を表示する仮の線である。もともと地球のどの場所でも0度經線にすることができたが、19世紀に多くの海洋船がグリニッジ天文台を通過している經線を参考にしたため、学者たちが經線を決める会議でそう決定した。）

2. 認識緯度（緯度の学習）

「將地球儀平均分為南、北兩半的圓圈線稱為赤道，與赤道平行的圓圈線就是緯線。赤道以北是北半球，緯線稱為北緯；赤道以南是南半球，緯線稱為南緯。」（地球儀の真ん中を横切っている円い線を赤道といい、赤道に平行する線を緯線という。赤道より北側は北半球で、北半球の緯線は北緯という。赤道より南側は南半球で、南半球の緯線は南緯という。）

【球体図の中の赤道を「緯度0°」と表示している】

「北緯、南緯通常以英文符號N、S表示。」（北緯、南緯は一般的に英語の記号のN、Sで表示する。）

3. 臺灣的經緯度（台湾の經緯度）

「有了經緯度，人們可以迅速的在地球儀上或地圖上找到想要尋找的地方與目標。例如：臺灣島大致介於東經120度至122度，北緯22度至25度之間。」（經緯度があれば、早く地球儀や地図上の搜したい場所や目的地を見つけることができる。たとえば、台湾島はほぼ東經120度から122度まで、北緯22度から25度までの間に入る。）

4. 影響臺灣氣候的因素（台湾の氣候を影響する要素）

「北回歸線：位於北緯23.5度，是太陽光直射地球的最北界。北回歸線到赤道之間的地區，因為接受較多的太陽熱量，所以氣候比較炎熱。」（北回歸線：北緯23.5度にあつて、太陽が垂直に地球の表面に当たる一番北側の境界である。北回歸線から赤道までの間は太陽の熱を多く浴びる地域なので、氣候は比較的暑い。）

「季風、地形及緯度等是影响臺灣氣候的主要因素。臺灣位於太平洋與歐亞大陸的交界處，是季風盛行區域。另外，高山地形分布範圍廣，以及北回歸線通過臺灣的南部和東部地區，使得各地的氣候有不同的變化。」（季節風、地形及び緯度などは台湾の氣候に影響を与える主要要素である。台湾は太平洋とユーラシアの境目に位置しているので、季節風の影響が強い。また、高山地形が広がっていて、北回歸線が台湾の南部地域と東部地域を通過している関係で、異なった氣候の変化が見られる。）

N社

【第5学年（上）】

1. 經緯線的基本概念（經緯線の基本概念）

「我們觀察地圖或地球儀時，常可見許多縱橫交錯的線，這是人們為了精確標示地球上每個地區的詳細地點而發明的假想線。」（地図と地球儀上には縦と横に交錯する多くの線を見ることができる。それは地球のそれぞれの場所の詳しい位置を正確に表示するために作られた仮の線である。）

「連接北極與南極的直線稱為經線，而將地球平均分為南北兩半的線稱為赤道，與赤道平行的線則是緯線。」（地球の北極点から南極点までつなぐ線を經線という。地球の真ん中を横切っている線を赤道といい、赤道に平行する線を緯線という。）

2. 經度（經度）

「每一條經線都有一個度數稱為經度。國際上以通過英國倫敦格林威治天文臺的經線為經度0度，以東為東半球，經度稱為東經，英文標示字母為E；以西稱為西半球，經度稱為西經，英文標示字母為W。東、西經各為180度。」（經線の上に書かれた数字を經度という。國際的にイギリスのロンドンにあるグリニッジ天文台を通過している經線は經度0度であると決めている。經度0度より東側は東半球といい、その經度は東經といい、英語の表記はEである。經度0度より西側は西半球といい、その經度は西經といい、英語の表記はWである。東經と西經は180度までである。）

3. 緯度（緯度）

「每一條緯線都有一個度數，稱為緯度。赤道為0度緯線，以北是北半球，緯度稱為北緯，英文字母標示為N；以南是南半球，緯度稱為南緯，英文字母標示為S。南、北緯各為90度。」（緯線の上に書かれた数字を緯度という。赤道は0度緯線である。赤道より北側は北半球で、その緯度は北緯といい、英語の表記はNである。赤道より南側は南半球で、その緯度は南緯と言い、英語の表記はSである。北緯と南緯は90度までである。）

4. 臺灣本島的經緯度範圍（台湾本島）

「透過經緯度，我們可以明確知道地球上各地區的實際位置。例如：臺灣本島大約位於東經120度到122度。北緯22度至25度之間。」（經緯度があれば、地球の場所の實際位置を正確に把握することができる。たとえば、台湾本島はほぼ東經120度から122度まで、北緯22度から25度までの間に入る。）

「臺灣地區有北回歸線通過，其中嘉義縣和花蓮縣設有北回歸線標誌。」（北回歸線が台湾を通過している。嘉義県和花蓮県には北回歸線の標識が設けられている。）

5. 氣候與緯度的關係（氣候と緯度の関係）

「經緯度不只可以精確定位位置，緯度高低也代表氣候的差異。緯度愈高氣候愈寒冷，緯度愈低氣候愈炎熱。」（經緯度は場所の位置を正確に表示することができるし、緯度の高さも氣候の差異に影響する。緯度が高ければ高いほど、氣候は寒い。緯度が低ければ低いほど、氣候は暑い。）

6. 影響氣候差異的因素（台湾の氣候の差異に影響する要素）

「影響臺灣氣候差異的因素主要有緯度、地形和季風。」（台湾の氣候の差異に影響を与える主要要素は、緯度、地形と季節風である。）

「受到北回歸線通過臺灣，以及地勢高低的影響，臺灣各地的氣候明と顯有不同的變化。」（北回歸線が通っているため、及び地勢の高さの影響で、台湾では異なった気候の変化が見られる。）
 「我們如果用北回歸線來劃分，以北為副熱帶氣候區，以南為熱帶氣候區。」（北回歸線で分けるとすれば、北回歸線より北側は、副熱帯（亜熱帯）気候地域である。北回歸線より南側は、熱帯気候地域である。）

（3社の社会科教科書より謝君慈作成）

台湾内を通っていることから児童にも身近な「北回歸線」の説明について、K社の教科書には、「臺灣島の氣候，可以北回歸線為界。北回歸線以北的地區，緯度較高，屬於副熱帶氣候；以南的地區，緯度較低，屬於熱帶氣候。」（台湾島の気候は北回歸線を境にする。北回歸線より北側は、緯度が高く、副熱帯（亜熱帯）気候である。北回歸線より南側は、緯度が低く、熱帯気候である。）、「北回歸線就是北緯23.5度的緯線，是陽光垂直照射地球表面最北的緯線。一般以北回歸線為熱帶與副熱帶氣候的分界線。」（北回歸線は北緯23.5度の緯線で、太陽が垂直に地球の表面に当たる一番北側の緯線である。一般的に北回歸線は熱帯と副熱帯（亜熱帯）気候の境界線となる。）と記載されている。

H社の教科書では、「北回歸線：位於北緯23.5度，是太陽光直射地球的最北界。北回歸線到赤道之間地區，因為接受較多的太陽熱量，所以氣候比較炎熱。」（北回歸線：北緯23.5度にあつて、太陽が垂直に地球の表面に当たる一番北側の境界である。北回歸線から赤道までの間は太陽の熱を多く浴びる地域なので、気候は比較的暑い。）、さらに「季風、地形及緯度等是影响臺灣氣候的主要因素。臺灣位於太平洋與歐亞大陸的交界處，是季風盛行區域。另外，高山地形分布範圍廣，以及北回歸線通過臺灣的南部和東部地區，使得各地的氣候有不同的變化。」（季節風、地形及び緯度などは台湾の気候に影響を与える主要要素である。台湾は太平洋とユーラシアの境目に位置しているので、季節風の影響が強い。また、高山地形が広がっていて、北回歸線が台湾の南部地域と東部地域を通っている関係で、異なった気候の変化が見られる。）と記述されている。

N社では、「受到北回歸線通過臺灣，以及地勢高低的影響，臺灣各地的氣候明顯有不同的變化。」（北回歸線が通っているため、及び地勢の高さの影響で、台湾では異なった気候の変化が見られる。）、そして「我們如果用北回歸線來劃分，以北為副熱帶氣候區，以南為熱帶氣候區。」（北回歸線で分けるとすれば、北回歸線より北側は、副熱帯（亜熱帯）気候地域である。北回歸線より南側は、熱帯気候地域である。）としている。

以上の他に、K社とN社の教科書では「以北回歸線為熱帶與副熱帶氣候的分界線」（北回歸線は熱帯と副熱帯

（亜熱帯）気候の境界線となる）という気候の境界線に関する説明が見られた。

IV. むすび

本研究では、台湾の全3社の現行社会科教科書における地図に関する学習内容の比較を通して、「國民小學」における社会科教育課程の地図学習の現状を明らかにした。具体的には、台湾の「國民小學」の社会科教育課程の全3社の教科書に掲載されている地図学習に関する記載の整理を行った。さらに、各社の教科書における児童の地図の読図や作図に必須の記載要素である地図名・方位・縮尺・凡例・経緯度などに関する学習内容をまとめて比較した。以下に、その結果を2点にまとめ、さらなる課題について述べる。

1) 台湾の「國民小學」の社会科教育課程における地図学習の要素の比較

Ⅲ章1節で明らかにしたように、地図に明解な主題名の表記がなく、長い説明文が地図名として使われがちである。また、方位や比例尺や凡例などは、付けられたり付けられなかったりしている。この点については段階的な学習課程に沿った改善がなされるべきであろう。

Ⅲ章2節で論じたように、3社とも比例尺を用いて地図上の距離を測定する方法に関する学習内容を記載している。ただし、台湾では分数に関する学習内容が第3学年と第4学年の算数の教育課程ですすでに取り扱われているため、「分数表記の縮尺」を取り入れた方が児童にとっては分かりやすいということも考えられる⁸⁾。

2) 台湾の「國民中小學九年一貫課程綱要社會學習領域」の「分段能力指標」に求められている項目に関する学習内容の比較

3社の社会科教科書は、『國民中小學九年一貫課程綱要』に則って執筆・編成されている。台湾では、地図学習に関する記述について、「國民中小學九年一貫課程綱要社會學習領域」の「分段能力指標」（「段階的能力指標」）の1-2-4という項目に示されている。

この綱要に基づき、「距離を測る」・「地図を読む」・「記号を使って簡単な平面図を描く」という能力を育てる学習内容については、以下のようによにまとめられる。

「距離を測る」に関する学習内容については、3社とも取り扱っているが、比例尺を地図に入れたり入れなかったりする状態がみられた。「地図を読む」という能力を育てるために、3社の学習内容とも各社の取り上げた地図によってどのような地図能力が身につけられるかに関して、それぞれの説明がⅢ章3節に挙げたように多くみられた。「記号を使って簡単な平面図を描く」に関する学習内容については、H社とN社にみられた。このように3社の教科書によって、各社各様に取り上げた内容に相違がみられた。こうしたことから各社の教科書で学ぶ児童によって、習得する地図学習に関する能力に差異の生じることも懸念される。

3) 今後の課題

児童の地図学習に関しての実態把握には、台湾の社会科教育課程における地理分野に関する全3社の教科書の学習内容について、児童が限られた学習時間内でどのような指導を受けて地図の活用能力を高めているのか、教育現場での授業内容も検討する必要がある。

そこで、今後には「國民小学」の教育現場においてどのような地図に関する学習指導がなされているかについて、小学校の社会科の教諭を対象にして聞き取り調査を行うつもりである。また、児童の地図に関する能力の育成段階について、台湾の「國民小學」の社会科教育課程における地図学習がどのように展開されているかと共に、日本の地図学習とも比較しながら検討したい。

文献

- 「國民教育法」(2016年06月01日修正) <http://edu.law.moe.gov.tw> (最終閲覧: 2017年11月25日)
- 謝君慈 (2010): 幼児の知覚環境形成に関する地理学的研究 (博士学位論文). 久留米大学.
- 謝君慈 (2010): 景観写真による言語描写法からみた幼児の知覚環境形成—福岡県の農村地域における4歳男児Tを事例に—. 新地理, 第58巻第3号, 1-14.
- 謝君慈 (2012): 日本福岡県久留米市田主丸町川会校区における幼児の知覚環境形成—景観写真による言語描写法を通して—. 南榮技術學院人文學群2012異文化交流國際學術研討會研討會論文集, 86-102.
- 謝君慈 (2013): 景観写真による言語描写法からみた幼児の知覚環境要素—台湾台南市の農村地域における6歳女児Lを事例に—. 南榮技術學院人文休閒學群2013異文化交流國際學術研討會研討會論文集, 181-195.
- 謝君慈 (2014a): 台湾台南市新化区の中心集落における6歳男児Lの知覚地図と知覚環境要素—景観写真による言語描写法を通して—. 南榮科技大学人文休閒學院2014異文化交流國際學術研討會論文集, 578-591.

- 謝君慈 (2014b): 景観写真による言語描写法からみた幼児の知覚環境形成—台湾台南市新化区の中心集落における6歳女児Lを事例に—. 熊本大学「生活・言語文化」国際交流研究会研究論文集Ⅲ, 73-95.
- 謝君慈 (2014c): 景観写真による言語描写法からみた幼児の知覚環境形成—台湾台南市新化区の中心集落における6歳女児Lと5歳男児Lの比較を通して—. 日本語言文化研究國際學術シンポジウム日本研究の多様化研討會論文集, 93-116.
- 謝君慈 (2015a): 台湾台南市新化区の中心集落における6歳女児Lと5歳男児Lの比較からみた幼児の知覚環境形成—景観写真による言語描写法を通して—. 臺灣日本語言文芸研究学会『日本語言文藝研究』, 第15巻, 143-167.
- 謝君慈 (2015b): 「新化老街」の歴史的町並みと街役場建物に対する幼児の知覚—台南市新化区の中心集落におけるM幼稚園の7名の幼児を事例に—. 靜宜大學日本語言學系2015年度『日本學與台灣學』國際學術研討會會議論文集, C4, 1-14.
- 謝君慈 (2016): 台南市新化老街の歴史的町並みと街役場建物に関する幼児の知覚環境形成—景観写真による言語描写法を通して—. 新地理, 第64巻第1号, 1-18.
- 勝野頼彦等 (2013): 教育課程の編成に関する基礎的研究報告書4 諸外国における教育課程の基準—近年の動向を踏まえて—.
- 松井秀郎 (2007): 「学校地図帳」への想いと検定制度あれこれ. 地図中心, 第419号, 3-8.
- 寺本潔 (2012): 地図・地球儀・空間認知と地理教育. E-journal GEO, 第7巻第1号, 43-48.

注

- 1) 課本とは日本の教科書のことである。台湾の小学校では、教科書が「課本」及び「習作」に分かれている。「課本」は日本の「教科書」に相当し、「習作」は日本の「ワークブック」に相当する。
- 2) 「國民教育法」の第3条では「國民教育分為二階段：前六年為國民小學教育；後三年為國民中學教育。」(國民教育は6年間の国民小学教育と3年間の国民中学教育に分けられる。)と義務教育の修業年限が規定されている。また、「國民教育法」第8条では「國民小學及國民中學之課程綱要，由教育部常設課程研究發展機構定之。」(国民小学及び国民中学の課程綱要は教育部が常設するカリキュラム研究開発機関が定める。)と義務教育の課程綱要が規定されている。
- 3) 現行の『國民中小學九年一貫課程綱要』は2006年から「微調」と呼ばれる小幅な修正がなされ、2008年に公布された(『97課綱』と呼ばれる)。ちなみに、『十二年國民基本教育課程綱要』は2014年11月に公布されており、2019年に施行される予定である。
- 4) K社は康軒文教事業股份有限公司である。掲載許可申請

の際の出版社の意向によりK社の名前を開示しておく。

5) 台湾では、日本の「学習指導要領解説」に当たるものがないため、本稿では日本の「学習指導要領—社会編」と台湾の「國民中小學九年一貫課程綱要—社會學習領域」における地図学習に関する内容について比較を行った。

6) 中国語の日本語への翻訳については、これ以降を含め謝君慈の訳である。

7) 『2008年國民中小學九年一貫課程綱要—數學學習領域』

の「分段能力指標」（「段階的能力指標」）では、第二階段（第3学年と第4学年）において「N-2-09能在具體情境中，初步認識分數。」（具体的な場面で分数を認識することができる。）という項目、第三段階（第5学年と第6学年）において「N-3-14能認識比率及其在生活中的應用。」（比率を認識し、生活で応用できるようになる。）という項目が定められている。

8) 注7参照

Applying map learning in the social studies curriculum of elementary schools in Taiwan

HSIEH Chun Tzu*, YAMASHITA Akihiro**

* Guest researcher, Institute of Environmental Sciences, Rissho University

National Chin-Yi University of Technology, Providence University, Zendel Highschool

** Providence University, Guest researcher, Institute of Environmental Sciences, Rissho University

Key words: Taiwan, Elementary Schools, Social Studies Curriculum, Map Learning